

令和7～10年度 学校における働き方改革重点取組についての補足資料

用語等についての考え方等

- 月当たりの時間外在校等時間が45時間以内となっている教員
どの月においても、時間外在校等時間が45時間以内となっている教員をいう。
- 教員
本重点取組では、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、実習助手、寄宿舎指導員、講師※、養護助教諭※、臨時の実習助手※、臨時の寄宿舎指導員※をいう。ただし、※はフルタイムの者に限る。
- 在校等時間
校内に在校している時間及び校外での勤務の時間を外形的に把握した上で合算し、そこから休憩時間及び業務外の時間を除いたもの。
令和6年9月30日付け、文科初第1293号通知において、「全ての教育委員会において学校における働き方改革の実効性を向上させる観点から、業務量の現状や取組状況を把握し、公表するとともに、その状況を踏まえ、在校等時間の長時間化を防ぐために、業務の分担の見直しや適正化、必要な環境整備等の取組を実施するといったPDCAサイクルの構築が不可欠であること。」と示されている。
- 時間外在校等時間
在校等時間から正規の勤務時間を引いたもの。
- 業務量管理等に関する計画
教員の業務量の適切な管理と健康・福祉を確保するための措置を実施するための計画のこと。令和7年2月7日に閣議決定された、「公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律案」では、教育委員会に対して作成等を義務付けることが示されている。
法律の改正後、計画に記載する内容等を整理した様式等が示される見込みであるが、令和7年4月1日時点では未定。
- 熟議
十分に議論を尽くすこと。
- 部活動の地域連携・展開
地域連携とは、学校部活動において部活動指導員等外部指導員を活用することや複数の学校において合同で活動すること。
地域展開とは、学校部活動から地域クラブ活動へ転換していくこと。
- 校務DXに向けた環境整備
保護者連絡システムや自動採点システムの導入、教職員への校務用個人メールアドレスの付与等を想定している。
- クラウド等を活用した教材等の共有
クラウドツール等を活用し、校内及び自治体内の学校間で教材等の共有・共用を行うことを想定している。
- 施設管理業務
学校プールの管理業務を含めた施設等の清掃・修繕、草刈りやグラウンド整備などの環境整備等を想定している。
- 支援スタッフ
教師業務アシスタント、部活動指導員、ICT支援員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等を想定している。
- 業務分担
学校・教師が担う業務に係る3分類を踏まえ、学校や教師が担っていた業務を地域や支援スタッフと分担し協働すること。